



お祝いの花束に囲まれ、笑顔のミキさん

近藤ミキさん(柏崎)
皆の優しさに感謝

2月12日に100歳の誕生日を迎えた近藤ミキさん。入所する施設で行われた長寿祝いでは、お祝い状や花束を受け取り「ありがとうございます」と深くとお辞儀をしました。仲間との会話が楽しみで、行事にも積極的に参加するミキさん。「みんなが優しく、気遣いしてくれるから、これまで長生きができました」と笑顔で話してくれました。



表彰状を手に気持ちを引き締める廣崎団長

消防団が水防功労者表彰
市民の安全確保に尽力

台風10号による豪雨災害の被害軽減の功労が認められ、久慈市消防団(廣崎康一団長)が水防功労者国土交通大臣表彰を受賞。市に台風が最も接近した8月30日、31日には延べ約1,300人の団員が出勤し、水防活動や住民の救助、避難誘導などに尽力しました。廣崎団長は「表彰はとても名誉なことです。市民の安全と安心のために今後も一丸となって活動していきます」と決意を新たにしました。

NEWS

職場体験向上セミナー

学校・企業が連携し、担い手を育成



パネルトークで学校と企業、互いの取り組みを発表

市では、若者の地元定着を目的に、学校と企業の連携による「地域ぐるみのキャリア教育」の充実に取り組んでいます。1月20日、この一環として、職場体験向上セミナーが開催され、関係者約50人が意見交換を行いました。ジョブカフェ一関の金野馨センター長による基調講演に続いて、学校と企業双方の関



よりよい学びに向けて意見交換

係者が参加してパネルトークが行われ、学校の事前・事後学習、企業の体験プログラムづくりなどそれぞれの取り組みを発表。パネリストを務めた三陸鉄道(株)金野淳一運行本部長は「まだまだ学校側との調整は必要ですが、裏方の仕事も含めた『会社の日』の流れを体験させることができれば、生徒たちの将来につながる『気づき』が生まれると思います」と話しました。

NEWS

久慈港イメージアッププロジェクト

クイズやポスター、久慈港をPR



カプセルで遊ぶ子どもたち

県内の自治体から募った課題を、学生が卒業論文のテーマとして研究し課題解決に向けたきつかけづくりを行う、岩手大学の「地域課題解決プログラム」。このプログラムに「久慈港イメージアッププロジェクト」が採択され、同大人文社会科学部4年生の多田安里さん、中里優実さん、森田詩緒里さんの3人が、久慈港の利用促進や市民からの親しみ・関心の向上を図るPR活動に取り組みました。3人は、昨年5月から実地調査や市民1500人を対象としたアンケートを実施。これらを踏まえて、イメージアップ企画を立案しました。この企画で作られたの

制作されたの



研究に取り組んだ(左から)森田さん、多田さん、中里さん

がポスターとカプセル自販機。ポスターは、視覚的に訴えて久慈港に明るいイメージを持ってもらうと、港の風景や写真にオリジナルのロゴなどをあしらった14種類を制作。カプセル自販機は、カプセル内に久慈港のクイズや豆知識を書いたシールを入れ、楽しみながら港への理解を深めてもらうという。どちらも、1月末にやませ土風館に展示されました。

市民満足度アンケート

政策推進課 ☎ 52-2115

昨年12月に、市民2,000人を対象として、総合計画に基づき実施している代表的な施策に対して重要性の認識や満足度を聞くアンケートを実施しました。調査結果は、計画の進捗確認や業務改善を進める上で活用していきます。調査にご協力いただき、ありがとうございました。

■ 調査概要

- 名称: 市民満足度アンケート
- 期間: 12月3日～12月20日
- 対象: 各行政区の人口比に基づいて、無作為に抽出した20歳以上の市民2,000人
※住民基本台帳は11月20日現在
- 有効回答数: 648人(32.4%)
- ◆ 調査結果の詳細は、市HPに掲載しています

